

EVENT SCHEDULE 3・5

March May

ALL MAP



紹介した全スポットを掲載

April / 9 Tue - 17 Wed 長浜曳山まつり



長浜八幡宮の春季大祭に合わせて毎年4月に実施される祭典。本年度の出番山は、「常磐山」「孔雀山」「翁山」「萬歳樓」の4基。曳山の舞台で、男児たちにより演じられる子ども狂言(歌舞伎)は約40分の演目で、長浜独自の題がついている。笛や鉦などのシャギリ演奏にも注目。

開催日 長浜曳山まつり 2019年4月9日(火)～2019年4月17日(水)
子ども狂言 2019年4月13日(土)～2019年4月16日(火)
開催時間 子ども狂言 13日(土)夕方以降、14日(日)午前中、15日(月)・16日(火)終日
※13日の鑑取式で時間が確定。
住所 長浜市御地(大手門通り)一帯、長浜八幡宮
参加料 無料
TEL 0749-65-3300(曳山博物館)
WEB <http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>

英語パンフレット

April / 12 Fri - 15 Mon 山王祭



(公社)びわこビジターズビューロー

全国に3,800以上ある「山王さん」の総本宮、日吉大社の例祭で、大津市の無形民俗文化財に指定されている。2基の神輿を東本宮へ担ぎ降ろす「午の神事」、神輿を激しく揺り動かす「宵宮落とし」、7基の神輿が琵琶湖へと進む「神輿渡御」など勇壮で華やかな祭りは必見。

開催日 2019年4月12日(金)～2019年4月15日(月)
開催時間 12日(金)18:30～、13日(土)13:00～、14日(日)・15日(月)10:00～
住所 山王総本宮 日吉大社(滋賀県大津市坂本5丁目1-1)
参加料 4月13日・14日は入場料は無料
TEL 077-578-0009(日吉大社)
WEB <http://hiyoshitaisha.jp/event/sannou>

比良八講



テーマは、山と湖をつなぐ、水への祈り。比叡山延暦寺の準行事で、雄松崎会場での大護摩供・お加持・福餅まきのほか、山伏や僧侶などによる列組など見どころの多い湖国の古典行事。

開催日 2019年3月26日(火)
開催時間 10:00～12:40
※小雨決行、天候やその他の事情でコース、時間変更あり。
住所 大津市近江舞子雄松崎一帯(大津市近江舞子雄松崎)
参加料 無料(護摩木・お札等の販売あり)
TEL 090-4037-4944(東岸)
WEB <http://www.hira-hakkou.net>

八幡まつり



(公社)びわこビジターズビューロー

30本以上の燃え盛る松明と仕掛け花火が春の夜空を焦がす宵宮祭。そして本祭では、宮入りをした大太鼓による渡御が行われ、各郷ごとに伝承された様々な太鼓の打ち方を楽しめる、1,000年以上続く祭り。

開催日 2019年4月14日(日)・15日(月)
開催時間 14日(日)19:00～、15日(月)10:00～
住所 日牟禮八幡宮(滋賀県近江八幡市宮内町2)
参加料 無料
TEL 0748-33-6061(近江八幡駅北口観光案内所)
WEB <https://www.omis.com/maturi/hachiman.htm>

古例大祭(多賀まつり)



(公社)びわこビジターズビューロー

鎌倉時代の古記録にも現れる多賀大社年間の最重議。近郷の有力者の中から選ばれた馬頭人が祭りを指揮する。神輿・鳳輦・馬頭人の行列など、総勢400人と騎馬40数頭による渡御神事は圧巻。

開催日 2019年4月22日(月)
開催時間 8:30～17:00
住所 多賀大社(滋賀県犬上郡多賀町多賀604)
参加料 無料
TEL 0749-48-1553(多賀観光協会)
WEB <http://www.tagataisa.or.jp/>

海津まつり(海津力士まつり)



(公社)びわこビジターズビューロー

海津天神社の春季例大祭で、色鮮やかな化粧まわしをつけた若者が神輿を担ぐことから「力士まつり」とも呼ばれている。夜には松明による「おねり」も行われ、多数の見物客が訪れる。

開催日 2019年4月29日(月)
開催時間 13:00～20:00
住所 海津天神社(滋賀県高島市マキノ町海津1253)
参加料 無料
TEL 0740-28-0051(海津天神社)

ケンケト祭り



水口で戦っていた織田信長軍に地元の人々が従い、その時の鎧を脱いだ姿を再現したと言われ、派手な友禅模様の着物で長刀踊りを奉納。踊りをはやす音頭から「ケンケト祭り」と言われる。

開催日 2019年5月3日(金)
開催時間 14:40～
住所 杉之本神社(滋賀県竜王町山之上3560)
参加料 無料
TEL 0748-58-3715(竜王町観光協会)
WEB <https://ryuoh.org/gyoji-matsuri/kenketo-matsuri/>

大溝祭400周年祭



(公社)びわこビジターズビューロー

5基の曳山が古式にのって太鼓・鉦の囃子で町内を巡行する日吉神社の春の例祭。豪華な天幕と胴幕・見送り幕など、趣向が凝らされた曳山が提灯をつけ曳き廻る宵宮の光景は目を奪われる。

開催日 2019年5月3日(金)・4日(土)
開催時間 3日(金)18:00～、4日(土)10:00～
住所 日吉神社(滋賀県高島市勝野2166)
参加料 無料
TEL 0740-33-7101((公社)びわこ湖高島観光協会)
WEB <https://oomizomatsuri.jp/>

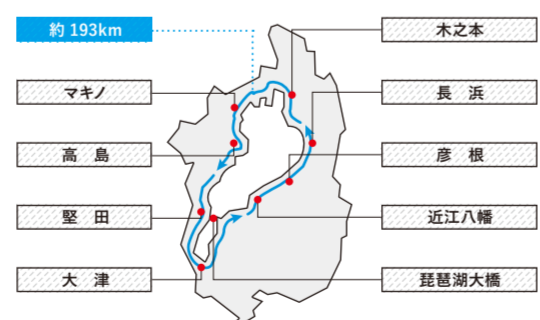
ビワイチ ～自転車で琵琶湖をめぐる～



琵琶湖を周遊するサイクリング「ビワイチ」。より琵琶湖を体感したいという方におすすめなのが、サイクリングとクルーズの組み合わせ。オーミマリンが運行する、彦根～マキノ航路には自転車ラックが設置され、自転車をそのまま積み込むことが出来る。航路の途中では、竹生島にも寄航。古来より信仰を集める神秘の島を体感できる。
※自転車を搭載できる便は限られています。※要事前予約

オーミマリン

TEL 0749-22-0619 WEB <http://www.ohmitetudo.co.jp/marine/>



公益財団法人
びわこビジターズビューロー
<https://www.biwako-visitors.jp>



びわこ一周
レンタサイクル
<http://biwaichi-cycling.com>

ビワイチ BEST SHOT!!



公益財団法人
びわこビジターズビューロー
<https://www.biwako-visitors.jp>



びわこ一周
レンタサイクル
<http://biwaichi-cycling.com>

FREE 2019年3～5月 vol.3

COOL SHIGA

CULTURAL INFORMATION GUIDE

NAGAHAMA HIKIYAMA FESTIVAL
約450年もの歴史ある祭

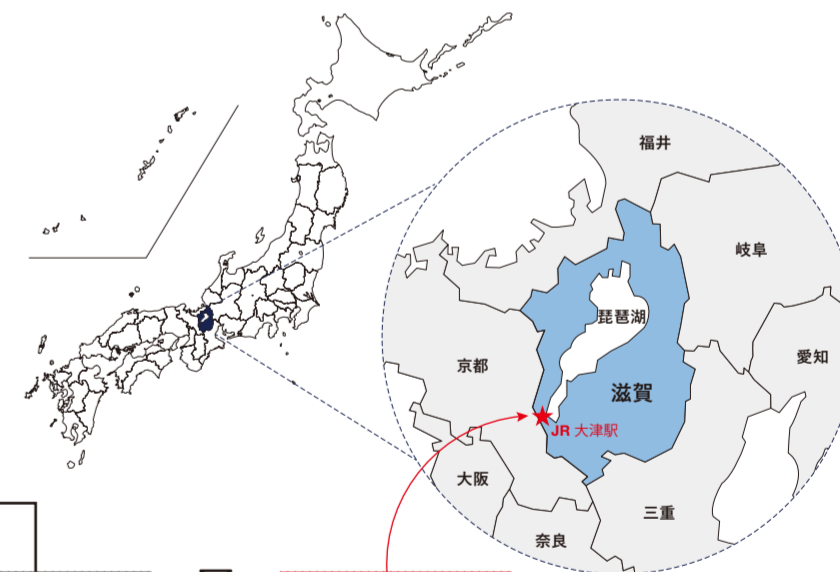
NIHONSHU
豊かな自然が育む美酒

SAKAMAI — RICE FOR SAKE
良質な地下水に恵まれ6種の好適米を栽培

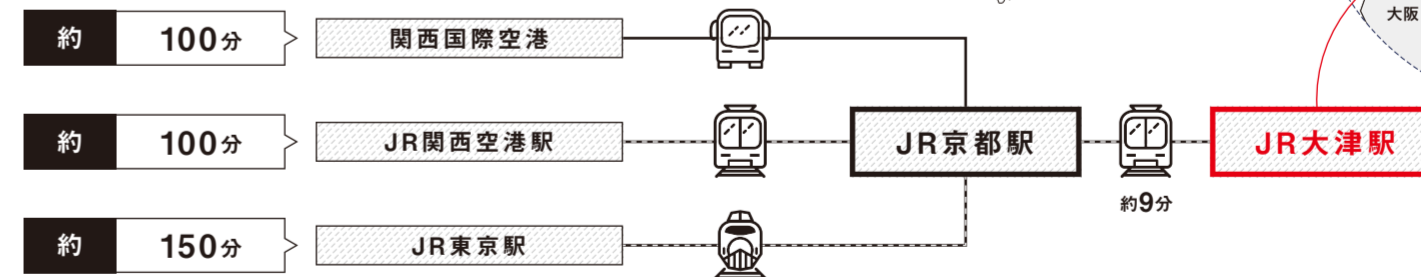
LOCAL CUISINE / EVENT

滋賀県について

日本列島のほぼ中央に位置し、日本最大の湖「琵琶湖」を有する滋賀県には、魅力溢れるエリアがたくさん。社寺や街道、歴史を伝える建物や街並を訪ねたり、古人の足跡をたどることで、多彩な文化を味わえます。また、豊かな水源と人の営みが調和した文化的景観や食文化が訪れるゲストを魅了します。まだ見ぬ滋賀県を発見しよう。



アクセス



近江米 清らかな水と肥沃な大地の恵み

日本最大の湖・琵琶湖や周囲の山々からの豊かな水と、養分をたっぷり含む肥沃な土壌に恵まれた日本有数の米どころ滋賀県。「食べることで、琵琶湖を守る」をキャッチフレーズに、減農薬や有機栽培など、品質向上と環境保全を目指す米づくりにも力を入れる。さまざまな品種が生産される中でも、県オリジナル品種「みずかがみ」は、ほどよい粘りとまろやかな甘み特徴で全国的にも高評価の人気米。



NAGAHAMA HIKIYAMA FESTIVAL

約450年もの歴史ある祭

長浜で息づく日本の伝統工芸と芸能

古くからの祭礼行事が多数残る滋賀の中でも、有数の歴史と規模を誇る行事の一つが長浜曳山祭。長浜の氏神である長濱八幡宮の春の祭礼に合わせて毎年4月に行われ、曳山と呼ばれる車輪付きの出し物が街を練り歩く。曳山や山車と呼ばれる出し物が練り歩く祭は日本各地にあり、2016年には長浜曳山まつりを含む国内33件の行事が「山・鉦・屋台行事」としてユネスコ世界無形文化遺産に登録された。その中でも、京都の祇園祭、岐阜の高山祭と合わせて「日本三大山車祭」と言われる長浜曳山まつりは、飾金具や彫刻など日本の伝統工芸の技が結集され「動く美術館」と称される曳山と、5〜12歳位の男児が演じる「子ども狂言（歌舞伎）」が見どころ。曳山は、形や装飾など個性豊かな13基があり、その多くは江戸時代中期（1700年代）から装飾の新調や修復を行いながら代々受け継がれてきた。長刀山以外の12基は前方に舞台があり、現在は年ごとに4基ずつ交代で登場。その年出番となる各山組の男児がその舞台上で狂言を演じ奉納する。豪華絢爛な曳山と可憐な子ども狂言は、時代を越えて多くの人々を魅了している。

長浜の町衆が創り受け継ぐ祭

長浜曳山まつりの始まりとされるのは、450年ほど前。織田信長から現在の長浜一帯を領地として与えられた羽柴秀吉（後の豊臣秀吉）が長浜城を築城した頃に遡る。築城とともに長浜の城下町を整備した際、秀吉は戦乱で荒廃した長濱八幡宮を再興。その時、平安時代後期の武将・源義家が戦から凱旋した様子を模した武者行列の祭礼を行い、これが長浜曳山まつりの起源といわれる。現在の祭でも武者と力士の行列「太刀渡り」が行われ、これは祭の原型である武者行列を受け継ぐもの。その他、祭の起源にまつわる説として、秀吉に長男が誕生し、その喜びから町衆に振る舞った砂金で曳山が造られたという話もある。しかし、歴史的信頼性は低く、この説は職人の諸役免除、年貢の免除といった政策により秀吉を強く慕っていた長浜の町衆の間で語られるようになった風説ではないかと考えられている。

現在の曳山や子ども狂言（歌舞伎）が祭に取り入れられた年代は、はっきりと分かっていないが、各町で曳山が造られたのが1700年代、子ども狂言（歌舞伎）については1742年の台本や1769年以降の記録があり、江戸時代中期頃には舞台付き曳山で子ども狂言（歌舞伎）の奉納が行われていたことが分かる。子ども狂言（歌舞伎）は、当時流行していた歌舞伎や人形浄瑠璃から着想を得て始まったと推定される。舞台付きの曳山で狂言を奉納する祭は日本にいくつか存在するが、その発祥は長浜曳山まつりといわれている。

13基ある曳山は、最も古い資料で高砂山の1745年の修理記録が残り、建造後も装飾や改修が加えられた。城下町として発展した長浜は、明治維新まで続いた年貢の免除、北国街道の宿場町や湖上交通の要所として更に栄え、町衆の財力や



裸参り



箆取り式
くじ



長濱八幡宮



子ども狂言

長浜曳山博物館

T E L 0749-65-3300

住 所 滋賀県長浜市元浜町 14-8

開館時間 9:00~17:00(入館16:30)

定休日 12月29日~1月3日 ※展示替え等により、臨時休館する場合がございます。

入 館 料 大人600円(480円) 小人300円(240円) ※()内は20人以上の団体料金

喫煙可否 禁煙

W E B <http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>

英語パンフレット

高い美意識により、豪華絢爛な曳山が形成された。長浜を中心に、江戸時代前期に活躍した彫刻師・藤岡和泉など、長浜仏壇と呼ばれる仏壇や社殿を手掛けた腕の良い職人たちの存在も曳山の建造・発展に大きく貢献した。現在では、長浜曳山祭そのものがユネスコをはじめとする無形文化財に登録されているが、各曳山も貴重なものとして県の有形民俗文化財に指定。寺社などの建築を手がける宮大工や彫刻師、漆を塗る塗師、飾り金具を扱う彫金師など、伝統工芸の匠たちにより、現在も随時修復されている。長浜にある曳山博物館では、次年度の祭で出番を迎える曳山を間近でじっくりと見ることができ、他、修復作業を行う際に、その様子を見ることができのブースもあるのでぜひ訪れてみて。



(公社)びわこビジターズビューロー



S A K A M A I — RICE FOR SAKE

良質な地下水に恵まれ6種の好適米を栽培

BREWERIES OPEN FOR TOURS

気になる蔵を見学しよう！

使う米や水、その土地の風土、仕込み方など、独特の個性をもつ蔵元。見学ができる蔵では、できたての日本酒が味わえる他、限定銘柄やオリジナルグッズがある所も。気になる蔵元へぜひ足を運んでみて。見学可能な県内14軒のうち、以下6軒は英語での対応も可能。

- 1 藤居本家
- 2 藤本酒造株式会社
- 3 川島酒造株式会社

※滋賀県内の酒蔵の所在地は、裏表紙のQRからチェック。

- 4 近江酒造株式会社
- 5 富田酒造有限公司
- 6 吉田酒造有限公司

N I H O N S H U

豊かな自然が育む美酒

古来より、寺社の儀礼や祭などの際にお供えされる神聖なものとされ、人や文化の交流に深く関わってきた日本酒。琵琶湖があることから水陸の交通の要所であった滋賀では、昔から湖岸の町や東海道、中山道沿いの宿場周辺に多くの造り酒屋が栄えてきた。県内には30を超える蔵元が点在し、100〜300年もの歴史を紡ぐ蔵元も少なくない。日本酒の主成分は「水」と「米」。「名水のあるところに銘酒あり」といわれるように、清らかな水と美味しい米を作る豊かな土壌がある滋賀県は、良質な日本酒を作る環境に恵まれている。日本最大であり最古の湖「琵琶湖」を中心に、東に伊吹山地、鈴鹿山地、西には比良、比叡山地と、山々に囲まれた盆地で、多くの県産酒は、これらの山々を穿とする地下水で仕込まれている。また、酒造りに適した酒造好適米の生産量が豊富なことも、滋賀で日本酒造りが盛んな理由のひとつ。県内で6品種の酒造好適米が栽培され、品種ごとの個性を活かし、多様な味わいの酒が造られているのも滋賀の日本酒の特徴。各蔵元が個性の光る味わい深い日本酒を探求し続けている。



酒造りに用いて開発された「酒造好適米」は、食べるための飯米に比べて大粒で、蒸して軟質のもの、また米の中央部に乳白色の「心白（しんぱく）」があるものがよいとされている。良質な地下水に恵まれた滋賀では、幻と呼ばれる伝説の酒米を復元した「滋賀渡船6号」や県オリジナルの「吟吹雪」、全国的にも人気の高い「玉栄」「日本晴」「山田錦」「美山錦」など6つの品種が栽培され、継承された技により銘酒へと導かれている。

第3回 近江の新酒

きき酒会

@びわ湖大津プリンスホテル

コンベンションホール「淡海」2F | 2019年3月21日(木)

酒販店・飲食店
受付開始12:30~、開場13:00~14:30

一般のお客様
受付開始14:00~、開場14:30~17:00

滋賀県酒造組合に加盟する33蔵が集結。今秋仕込んだばかりのお酒を中心におよそ300種類が試飲できる。気に入った銘柄は買って帰ることも可能。また、各蔵の仕込み水を飲み比べできるのも嬉しいイベント。



滋賀県酒造組合
年々注目が高まっている滋賀の日本酒。滋賀県の酒蔵情報はこちら。



日本酒造組合中央会
まずは日本酒について知って楽しみましょう！
お酒の基本情報はこちら。